

はしど



平成30年 9月 3日
学校だより 第5号
練馬区立橋戸小学校
校長 青木俊哉
<http://www.hashido-e.nerima-ky.ed.jp/>

☆学校教育目標

考える子・思いやりのある子・たくましい子

この夏を振り返り…

校長 青木 俊 哉

長い休みを終え、元気な声が学校に戻ってきました。2学期は、12月25日まで登校日80日の長丁場です。一人一人の子供が充実した時間を過ごし、「楽しかった。」「明日も学校へ行くのが楽しみ！」と思えるよう、全教職員力を合わせて教育活動に取り組んで参ります。引き続きご支援ご協力を賜りますよう、お願いいたします。

体温を超える暑さから始まった“この夏”の記憶をたどり、振り返ってみたいと思います。

厳しい気象状況と自然の猛威を感じた夏

猛暑・酷暑、台風、ゲリラ豪雨、竜巻、突風、落雷…様々な自然や気象の用語が報道を賑わせました。暑さが話題になる一方で、西日本豪雨に始まり日本各地で水の被害が相次ぎました。本校の学区域や練馬の区内でも、落雷による停電や豪雨に伴う主要道路の冠水、交通機関の乱れなどがあつたと聞きます。そもそも1学期の終業式では、前日までの熱中症事故報道を受け、どのように実施するか各校頭を悩ませました。本校では、風通しの確保、大型扇風機、時間短縮、座って話を聞くなどの対応で、無事終了しました。翌週の水泳指導においても、水・気温をこまめに測り、暑さ指数も確認の上、子供たちの状況に細心の注意を払って実施しました。わくわく教室でも、会場の変更やスタッフの方々のご配慮により、無事に楽しく終えることができました。ありがとうございます。

この暑さに蚊も飛ばなくなったとか、動物園の生き物たちも元気がないとか、来年以降の夏の天気はどうなるのだろう…など話題は尽きませんが、本校の子供たちが

何事もなく暑い夏を乗り切り、今日元気に通ってこられたことが、何よりの“夏の成果”です。

2年後を意識した夏

たくさんのスポーツ大会やイベント、国際大会が開かれるこの時期、様々な話題を楽しみにする毎日です。中でも、100回記念大会として盛り上がり記録と記憶に残る大会になった甲子園の高校野球、アジア大会での日本選手団の活躍や新しい競技の広がりなどが、強く印象に残っています。今日の始業式でも、水泳の池江璃花子選手の話を取り上げ、「よい結果・取組には、必ずていねいな準備と努力がある」ことを伝えました。いよいよ2年後、東京でオリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。初めて目の前で見られるオリンピック・パラリンピック、子供たちにとっても、私たち大人にとっても、“心躍る夏”となることは間違いありません。

平成最後の夏

昭和に生まれ育った私ですが、すでに平成の方が長い時間を過ごしていることに気づきました。一年後、どんな元号の下で夏を迎えているか、不思議な思いを抱きます。戦後73年、今の時代の良さ、平和で落ち着いて過ごせることのありがたさを実感するとともに、数年後、数十年後のくらしはどう変化し、仕事、学校、子供、社会等、どう変わっていくのかを“考えた夏”でした。

さて、皆様にとってはどんな“夏”だったでしょうか。ご家庭でも、親子で改めて“この夏”を振り返り、会話にさせていただけると、嬉しく思います。